

# 平成18年度 きのくに芸術新人賞

おお た たか ふみ  
太 田 隆 文

住 所：東京都

出 身 地：和歌山県田辺市

生 年：昭和36年

■現在

映画監督

## ◎業績及び経歴

昭和36年田辺市に生まれる。上宮高等学校(大阪府大阪市)を卒業後、昭和59年に渡米し、現在ハリウッドで活躍する多くの監督の母校である南カリフォルニア大学映画科で、ハリウッド式の映画作りを学び、帰国後の平成7年、ハリウッド製時代劇『GAI-JIN・開国』(米NBC)に監督アシスタントとして参加する。

平成10年には、連続ドラマ『風の娘たち』で監督デビューを果たし、その後、モーニング娘。などが出演する作品をはじめVシネマやドキュメンタリー等の監督として活躍し、「若い女の子をいきいきと描く監督」として高く評価される。また、平成15年には、大林宣彦監督に抜擢され、同監督作品『理由』の制作過程をフィルムに収める“メイキング”の監督も務める。

さらに、かねてから念願であった「故郷・田辺市を舞台に映画を撮ろう」という思いを胸に脚本を執筆し、6年がかりで制作費を集め、地元の協力と応援を得て平成17年に完成した初劇場映画『ストロベリーフィールズ』は、平成18年に和歌山で先行上映後、全国でも上映されヒットを収める。今後の活躍が最も期待されている新進気鋭の映画監督の一人である。